

作成例（法第28条第1項「前事業年度の計算書類（貸借対照表）」）

科目例はP72を参照

前事業年度の末日を記載する

〇〇年度 貸借対照表
××年×月×日現在

特定非営利活動法人〇〇〇〇
(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	200,000	
未収金	100,000	
流動資産合計		300,000
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
什器備品	100,000	
有形固定資産計	100,000	
(2) 無形固定資産		
ソフトウェア		
無形固定資産計	0	
(3) 投資その他の資産		
敷金		
特定資産		
銀行定期預金		
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		100,000
資産合計		400,000
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金		
事務用品購入代	70,000	
通信費		
預り金		
源泉所得税預り金	9,000	
受取会費（次年度分）		
流動負債合計		79,000
2. 固定負債		
長期借入金		
銀行借入金	200,000	
理事借入金	100,000	
固定負債合計		300,000
負債合計		379,000
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		9,000
当期正味財産増減額		12,000
正味財産合計		21,000
負債及び正味財産合計		400,000

「負債及び正味財産合計」と金額が一致することを確認

前事業年度貸借対照表の「正味財産合計」と金額が一致

活動計算書の「次期繰越正味財産額」と金額が一致することを確認

「資産合計」と金額が一致することを確認

(注) 重要性が高いと判断される用途等が制約された寄附金等（対象事業等が定められた補助金等を含む）を受け入れた場合は、「III 正味財産の部」を「指定正味財産」と「一般正味財産」に区分して表示することが望ましい。表示例は以下のとおり。

I 資産の部
1 流動資産

II 負債の部

III 正味財産の部
1 指定正味財産
指定正味財産合計
2 一般正味財産
一般正味財産合計

「用途等が制約された寄附金」の残高を記載

×××

〇〇〇